

子供宝也 No.7

平成 24 年 5 月 31 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

思いっきり遊ばせてやりたい！！

先日の昼休み、1年、2年、4年が武庫荘総合高校へ遊びにでかけました。

「うあわーっ、広〜っ！！」

「砂がサラサラや〜！」

「気持ちええ〜。」

みんなともうれしそうでした。余りの広さに、初めは何をしいかかわからないといった状態で、とにかく走り回っているといた感じでした。でも、子どもはすばらしいものです。勝手にいろいろな遊びを考え出して楽しそうに遊び始めました。たくさんの先生もやってきて、楽しそうでした。そのうち、高校生も一緒に長縄を回したりして、いっしょに遊んでくれました。

幼稚園と小学校、小学校と中学校などの異校種の連携の重要性が叫ばれています。今回、特にそのような事を意識したわけではありませんが、小学校と高校の小さな連携の芽が自然発生的にできたと思い、微笑ましく見ていました。

現在、校内遊びのスペース確保と内容、ローテーションなどの検討を行っています。体育館の北側は、主としてバスケットボールができるスペースにしました。北仮設門を入ったところのスペースは一輪車用、中庭は缶ポックリや竹馬、縄跳びなどができるスペースとしてとりあえずは決めました。また、体育館も開放することにしました。

また別の日、体育館をのぞいてみるとマットが一面に敷いてありました。5年生の子どもたちがマット遊びをしていました。いろいろな遊びを自由に選択するという形でとりかかったそうで、30人ぐらい来ていました。逆立ちをしたり、倒立前転、側転など、ただ、ごろごろと転がっている子もいました。自由に生き生きと活動していました。

遊ぶ時間を確保することと体育授業の充実が今年度の大きな課題ですが、二つの課題を一挙に解決する取り組みになるかもしれません。この取り組みに私も少しでも手伝わせてもらおうと思いました。

子どもにとって、やっぱり遊びは大切です。限られた場所ですが、思いっきり遊んでほしいと願っています。

しびれた〜

クラブ活動の日でした。ふたば学級の前を通ると「お茶クラブ」が活動していました。私も入ってみました。先生が、いろいろな道具の説明をしたあと、実際に茶せんを使ってお茶を点てて・・・といきたいところだったのですが、初めてなので、茶碗にお水を入れてとりあえずの練習をしました。その間、私はとにかく足がしびれて・・・どころではありませんでした。子どもたちもきっとしびれているのですが、我慢しています。「えらいなあ。」と感心しました。

現代の生活では正座をするということが激減したのではないかと思います。すぐに我慢ができなくなった私が言うのもなんですが、たまにはビシッと背筋を伸ばして正座をしてもいいのではないのでしょうか。「お茶」を通して、いろいろな日本の心を学んでほしいものですね。